



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,978	0.4	320	△35.5	463	△23.4	169	△42.9
24年3月期第1四半期	18,894	△6.1	497	85.2	604	62.0	296	544.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 306百万円 (△25.2%) 24年3月期第1四半期 410百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.90	—
24年3月期第1四半期	1.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	69,243	38,793	56.0	205.32
24年3月期	70,579	39,053	55.3	206.69

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 38,793百万円 24年3月期 39,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	0.7	800	△7.0	900	△12.6	300	△43.0	1.59
通期	82,000	0.9	1,600	4.1	1,800	1.3	800	—	4.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	195,627,147 株	24年3月期	195,627,147 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	6,683,977 株	24年3月期	6,682,614 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	188,943,621 株	24年3月期1Q	188,956,089 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、震災復興関連の需要により回復基調にあったものの、電力供給・値上げ、円高、株安、原材料価格の問題に加え、不安定な政情の影響もあり予断を許さない局面が続きました。国際情勢も、欧州の金融危機は依然として改善の糸口は見えず、また新興国の経済成長率の鈍化により世界経済もまた楽観できない情勢で推移いたしました。

このような事業環境の下、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 18,978 百万円(前年同四半期比 0.4%増)、営業利益 320 百万円(前年同四半期比 35.5%減)、経常利益 463 百万円(前年同四半期比 23.4%減)、四半期純利益 169 百万円(前年同四半期比 42.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

シューズ事業は、市場の小売価格の低価格化と天候不順により夏物の販売不振が続くとともに、スケッチャーズの6月末契約終了に伴う販売減少もあり前年売上を下回りました。その中において、小学生のライフスタイルをサポートするジュニアシューズ「瞬足」は、中学校体育授業にダンスが取り入れられたことから若年層のダンス人口増加があり、新たに加わったダンスカテゴリー「瞬足ダンス」が大きく話題を呼んだことで前年売上を上回りました。「アキレス・ソルボ」は春の新製品が好評を得て、特に百貨店向けを中心にご支持をいただき前年売上を上回りました。一方、「スポルディング」はスポーツシューズの低価格化の中で主力のジョギングシューズが伸び悩み前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結業績は売上高 4,006 百万円(前年同四半期比 13.7%減)、セグメント利益は 165 百万円(前年同四半期比 52.6%減)となりました。

#### <プラスチック事業>

車輦内装用資材は、国内自動車メーカーの震災後の大幅減産からの回復、また、エコカー減税などの特需効果もあり国内生産台数が増加したことに伴い、前年売上を上回りました。

フィルムの国内事業では、電子材料関連や太陽電池関連の不振の影響などにより前年売上を下回りましたが、農業資材分野では低気圧による強風被害からの復旧により前年より大きく伸長いたしました。北米事業では、主力の文具用などの動きは低調でしたが、グラフィック用などでカバーし前年売上を上回りました。

壁材は、新設住宅及びリフォームなどの需要により、前年売上を上回りました。床材は、商業系床材の販売低迷、住宅用では震災後の需要が一巡したことから、前年売上を下回りました。

引布は、長引く円高による輸出の落ち込みはありましたが、官公庁向けエアータントやODA(政府開発援助)向けレスキューポートをはじめとする災害対策製品の大型受注があり、前年売上を大きく上回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結業績は売上高 8,754 百万円(前年同四半期比 9.7%増)、セグメント利益は 330 百万円(前年同四半期比 2.3%増)となりました。

### <産業資材事業>

ウレタンは、消費低迷の厳しい環境下、車輛向けの回復と新企画の寝装品が好調に推移し前年売上を上回りました。

断熱資材事業は、戸建分野でのエコポイント特需の反動もあり苦戦しましたが、ボード製品は、屋上向けの製品を中心に拡販でき、またパネル製品も、畜産施設向けが好調に推移し前年売上を上回りました。システム製品は戸建分野で、スチレン製品は建材向けでともに苦戦し、前年売上を下回りました。

静電気対策品は、ウェハー搬送部材類は海外ユーザーの新規採用により好調に推移しましたが、国内市場は苦戦し前年売上を下回りました。中国子会社はパソコンの販売不振によるハードディスク部品生産減少の影響で前年売上を下回りました。大型R I M成形品は、医療機器分野向けが好調に推移し、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高6,216百万円(前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益は411百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は69,243百万円で前連結会計年度末に比較して1,335百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産は43,481百万円となり前連結会計年度末に比較して1,014百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が788百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,963百万円減少したことによります。固定資産は25,761百万円となり前連結会計年度末に比較して321百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が166百万円、投資その他の資産が139百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は21,257百万円となり前連結会計年度末に比較して964百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が345百万円、その他流動負債が484百万円それぞれ減少したことによります。固定負債は9,192百万円となり前連結会計年度末に比較して111百万円減少いたしました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比較して259百万円減少の38,793百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が275百万円増加し、利益剰余金が397百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は56.0%となり前連結会計年度末に比べ0.7%好転いたしました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成24年8月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,990	5,587
受取手形及び売掛金	25,965	24,002
商品及び製品	7,421	8,210
仕掛品	1,242	1,313
原材料及び貯蔵品	1,704	2,107
繰延税金資産	891	945
その他	1,461	1,437
貸倒引当金	△179	△122
流動資産合計	44,496	43,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,689	7,603
機械装置及び運搬具（純額）	4,993	4,935
土地	5,278	5,282
建設仮勘定	105	99
その他（純額）	404	384
有形固定資産合計	18,471	18,305
無形固定資産	539	523
投資その他の資産		
投資有価証券	2,829	2,788
繰延税金資産	3,160	3,016
その他	1,167	1,213
貸倒引当金	△86	△85
投資その他の資産合計	7,071	6,932
固定資産合計	26,082	25,761
資産合計	70,579	69,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,314	12,968
短期借入金	2,249	2,341
未払金	2,898	2,857
未払法人税等	336	156
資産除去債務	4	—
その他	3,418	2,933
流動負債合計	22,222	21,257
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	112	23
繰延税金負債	342	429
退職給付引当金	5,634	5,525
資産除去債務	196	196
P C B廃棄物処理引当金	17	17
固定負債合計	9,303	9,192
負債合計	31,525	30,449
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	11,373	11,373
利益剰余金	14,686	14,288
自己株式	△942	△942
株主資本合計	39,758	39,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	656	588
繰延ヘッジ損益	102	33
為替換算調整勘定	△1,463	△1,188
その他の包括利益累計額合計	△704	△566
純資産合計	39,053	38,793
負債純資産合計	70,579	69,243



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,894	18,978
売上原価	14,688	15,011
売上総利益	4,205	3,966
販売費及び一般管理費	3,708	3,645
営業利益	497	320
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	35
その他	77	131
営業外収益合計	124	166
営業外費用		
支払利息	11	15
その他	5	9
営業外費用合計	16	24
経常利益	604	463
特別利益		
固定資産売却益	1	0
国庫補助金	2	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産除却損	9	6
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	12	6
税金等調整前四半期純利益	596	459
法人税、住民税及び事業税	85	58
法人税等調整額	214	232
法人税等合計	299	290
少数株主損益調整前四半期純利益	296	169
四半期純利益	296	169

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	296	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△68
繰延ヘッジ損益	△51	△69
為替換算調整勘定	108	248
持分法適用会社に対する持分相当額	13	26
その他の包括利益合計	114	137
四半期包括利益	410	306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410	306
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,640	7,982	6,271	18,894	—	18,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	101	154	△154	—
計	4,640	8,034	6,373	19,048	△154	18,894
セグメント利益	348	322	430	1,102	△605	497

(注)1. セグメント利益の調整額△605百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,006	8,754	6,216	18,978	—	18,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47	136	184	△184	—
計	4,006	8,802	6,353	19,162	△184	18,978
セグメント利益	165	330	411	907	△586	320

(注)1. セグメント利益の調整額△586百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。